

東荷（つかり）地区ってこんなところ



東荷地区は、山口県の南東部に位置する瀬戸内の温暖な気候と豊かな自然環境に恵まれた人口約5万人の光市の北部に位置し、初代内閣総理大臣「伊藤博文」生誕の地でもあります。

人口：644人（308世帯）R5.11月末現在

■内訳は次のとおり

20歳未満 64人（9.9%）

65歳以上 322人（50.0%）

約10年前の人口は785人（約18.0%減少）



伊藤公記念公園

資料館と旧伊藤博文邸や生家があります。公園内のイチヨウの葉で作成した「開運イチヨウカード」は、金運アップが期待されると毎年大人気です。



光市農業振興拠点施設 里の厨

地元産の新鮮な農産物や加工食品を中心に販売されている店舗には市内外から多くの買物客が訪れます。地域行事でもあるホタル観賞祭りもここで開催されます。



どろんこフェスタ

田植え前の田んぼを使って、バレーボールや綱引き、フラッグ取り等が行われます。子どもから大人までみんなで全身”どろんこ”になりながら楽しめます！



夕日の滝

滝の上に祀られている夕日観音が由来となった「夕日の滝」。知る人ぞ知る、霊験あらたかな癒しスポットです。



| 募集人数 | 業務内容 |
|-----------|---|
| 1名 | <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティプランの履行と実現支援に係る支援活動 (メインテーマ：東荷地区の地域資源（光市農業振興拠点施設「里の厨」や伊藤公資料館など）を活用した地域活性化) ・ コミュニティ活動に関する情報発信 ・ コミュニティ組織の維持・強化に係る支援 |

平成30年7月から令和3年6月まで光市初の地域おこし協力隊として東荷地区で活動した、川口隊員と東荷（つかり）地域のこれまでの活動紹介

①コミュニティプラン（地域活動計画）の実現支援



空き家を地域内外の交流施設とするために改修スタート



まずは生い茂った庭木の伐採から作業開始！



活用方法を決めてから各部屋の清掃開始！



傷んでいた箇所の改修を実施



隊員自身も改修作業を行いました



荒れていた田畑も耕し農業体験の実施も可能に！

交流施設「里の灯(あかり)」と命名

“空き家”を明るい存在＝“明き家”にしたいという思いで改修を行いました。

「灯」には、“証”という意味と“暗闇を照らす光”という意味があって、地域の皆さんと隊員が協力して取り組んだ“証”としてと地域のこれからの未来を照らす“灯り”になってほしいという思いを込めました。



「里の灯」を会場に地域内外の人たちの交流イベントも開催しました！



他市の隊員とのコラボイベント



ハロウィンイベント



さつまいも収穫体験

②コミュニティ活動に関する情報発信の支援

Facebookのアカウントを設立し、地域の紹介や活動情報を発信

Facebook：東荷コミュニティ協議会

(旧光市東荷 地域おこし協力隊)

新聞に毎月1回のコーナー掲載やラジオ番組への出演



③コミュニティ組織の維持・強化に係る支援 (地域行事の運営支援 等)



「つかり探訪ウォーク」の運営補助



東荷小学校の運動会への参加



「東荷ふれあい文化祭」の運営補助



「しめ縄づくり教室」の運営補助

川口隊員からのメッセージ

東荷地区は、風光明媚で里の厨や伊藤公資料館などの交流拠点を持ち、住民の交流が盛んな住みやすい地域です。

農業や歴史などに興味のある方、東荷の地域活性化につながる活動をしてみませんか？あなたの自由な発想が活かせる任務です。是非一度、お越しください。

